

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	3年度
事業名	地籍管理費	担当課	建設課
事業内容(簡潔に)	国土調査の成果修正や法定外公共物の目的外使用許可等により、土地の適切な管理を行う事業		

### 1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	美しいふるさとを誇れるまちづくり	
	政策	心地よい定住環境のあるまちづくり	
	施策	計画的な土地利用	
関連する個別計画等		根拠条例等	国土調査法

### 2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	国土調査法に基づき実施された地籍調査による成果の適切な管理 国有財産特別措置法に基づき譲与された法定外公共物の管理
事業の手段	業務委託により、国土調査の成果の誤りを調査士、登記・地図修正を行う。 法定外公共物の目的外使用許可、用途廃止及び寄附受納を行う。
事業の対象	市内の土地

### 3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		30年度	元年度	2年度
財 源 内 訳	A 事業費 (千円)	5,313	2,422	2,489
	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)	1,522		
	一般財源	3,791	2,422	2,489
B 担当職員数(職員E) (人)	0.65	0.65	0.65	
C 人件費(平均人件費×E) (千円)	4,761	4,365	4,274	
D 総事業費(A+C) (千円)	10,074	6,787	6,763	
主な事業費用の説明	H30 委託料(地図修正・地積更正・分筆)2,324千円、法定外公共物データ更新 1,285千円、県新府バイパス整備に伴う用地取得 1,522千円 R1 委託料(地図修正・地積更正)145千円、(地籍調査素図データ化)2,181千円 R2 委託料(地図修正・地積更正)2,290千円			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した30年度(6,862千円)、元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)を使用しています。

### 4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
活動指標	1 地図修正申出件数	法務局へ登記申請した件数 (件)	12	7	10
	2 用途廃止申請件数	用途廃止の申請件数 (件)	6	9	9
	3 占用許可申請件数	占用許可申請件数(新規・継続) (件)	27・92	37・81	29・37
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	判明した修正の必要な登記について、法務局へ申請した。			
	2	開発等により用途廃止が必要となった案件について、法務局へ申請した。			
	3	新規案件や、許可期間満了後継続が必要な案件につき、申請を受理した。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値			
			30年度	元年度	2年度	
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	地図修正登記完了件数	修正登記が完了した件数 (件)	12	7	10
	2	用途廃止件数	表題・保存登記が完了した件数 (件)	6	9	9
	3	占用許可件数	占用許可件数(新規・継続) (件)	27・92	37・81	29・37
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない				
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	申請のあった地図修正登記は年度内に完了し、地籍調査の誤りを修正することができた。				
	2	申請のあった用途廃止は年度内に完了し、土地の有効活用や付替えによる道水路の改修がされた。				
	3	申請のあった占用許可については年度内に完了し、法定外公共物の適正な管理ができています。				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)					
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)					
	令和3年度の改善計画(今後の事業展開説明) 法定外公共物の追加譲与、用途廃止の件数を把握し、システムに反映されていない箇所を確認する。件数により、今後システムに反映させる計画をする。					
過去の改善経過	改善の経過	H30 法定外公共物のデータ更新 R1 調査素図のデータ化				
	直近の評価結果	内部評価	令和元年度	<input type="checkbox"/> 拡大      - <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
		外部評価	年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
改善案	R1 調査素図をデータ化し、劣化による破損防止のための対策を行う。					
課長所見	過去の資料等をデータ化し、適切で丁寧な説明とともに速やかな事務処理を行う必要がある。					